

第四回日本成長戦略会議メモ

東京大学 鈴木一人

本日の議題に関し、いくつかコメントさせていただきます。

第一に資料 1 にあります、「日本成長戦略の基本的考え方の整理」についてですが、前回の拙コメントに基づき、ご検討いただいたこと、心より感謝いたします。大変素晴らしいまとめになっていて、17 の戦略分野の関係性、特に AI トランスフォーメーション (AX) を基盤に据え、他の分野を支える成長投資の戦略性がはっきりしたこと、また「自律性」「不可欠性」を軸にした危機管理投資の整理と、イノベーションを軸にした成長投資という整理がなされたことで、それぞれの戦略分野における官民投資ロードマップの目指すべきところが明らかになったように思います。

ただ、本件に関して、現在、大きな危機に直面する中東情勢を踏まえ、エネルギー・資源・GX をどう位置づけるかという点は、大きな関心と呼ぶと思います。戦略分野の中にエネルギーの問題が危機の起こる前から入っているのは慧眼と存じますが、その重要性は一層増していると思います。その意味では、この戦略分野も AX の基盤と並んで、我が国の成長戦略、とりわけ危機管理投資の大きな課題として位置づけられるべきかと存じます。

また、「時間軸を意識した複線的投資」という点も重要だと存じます。それぞれの成長分野における技術的な成熟性や産業構造を考えると、造船や防衛産業のように、既存の産業構造の転換による成長への飛躍が必要な分野もあれば、フュージョンのように、将来を見据えた技術開発が中心となる分野もあり、それぞれの分野における成長の時間軸は異なるものだと思います。となると、それぞれの分野における投資の性格も変わっていくように思います。産業再編型の投資は、より効率性を高め、危機管理と成長を追求する一方、次世代技術投資に関しては、失敗することも想定に入れた、より柔軟な投資をしていく必要があると思います。官民、特に民の投資を引き出すにしても、産業再編型の場合は官民が共に成長に向けての投資をする一方、次世代技術投資は官の投資による民の投資の誘発ということになるかと思えます。

第二に、分野横断型課題の整理もなされていて、大変有意義だと思います。この分野は専

門ではありませんが、関連するところで言うと、やはりスタートアップの課題を取り上げていただいたことは大変良いことだと思っております。この課題こそ、官の投資によって民間投資を誘発する課題だと考えております。とりわけ、アメリカをはじめとする各国では、スタートアップが経済成長の原動力となっていると同時に、デュアルユース技術の発達を支援、それが防衛分野における能力向上につながっている点があります。防衛産業 WG でも防衛スタートアップの問題が取り上げられていますが、スタートアップがこれまで研究開発に注力しつつ、そこから脱却出来ずに売上が立たないという問題があります。スタートアップに技術開発は必要条件ではありますが、そのスタートアップ企業を経営し、成長させる経営人材を備えることは十分条件だと思っております。その意味では政府は SBIR のような研究開発の支援だけでなく、防衛調達を含む政府調達を通じて、スタートアップ企業の売上に貢献するだけでなく、スタートアップ企業の経営能力を高め、国際競争力を備えた企業を育てていくことが重要だと考えております。